

2021年度保護者向け 放課後等デイサービス評価表

公表 2022/3/25 実施期間 令和2022/2/10～2022/2/20

事業所名 放課後等デイサービスGrowup岡崎羽根北 対象人数(保護者) 18人 回答者 13 人 回収率 72%

チェック項目			合 計				ご意見	疑問・ご指摘に対する施設の対応
			はい	どちらでもない	いいえ	無回答		
環境・体制	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	1	0	0		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	12	1	0	0		
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	5	0	0	・新しい施設を詳しく見学していないので、わかりません。	・コロナ禍が落ち着いたら、見学会又は座談会を開催予定です。
	4	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	1	0	0	・新しい施設を詳しく見学していないので、わかりません。	・コロナ禍が落ち着いたら、見学会又は座談会を開催予定です。
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	13	0	0	0		
	6	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	12	1	0	0	・季節や時期に応じた活動をしてきている。	・ありがとうございます。今後も季節に合った活動を考えていきます。
	7	運動プログラム、自由遊び、制作活動、調理活動、所外活動等、事業所で提供される活動に満足しているか？	13	0	0	0	・身体を動かす活動が平日にもあれば良いと思います。	・ご意見ありがとうございます。長期休暇の時は、平日、近くの公園に行って体を動かしています。放課後については、今後検討してみます。
	8	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	9	3	0		
保護者への説明等	9	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	0	0	0		
	10	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	13	0	0	0		
	11	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13	0	0	0		
	12	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	7	0	0	・コロナでできないのは仕方ないと思います。 ・コロナで仕方がない	・コロナ禍が落ち着いたら、直ぐにでも保護者同士の交流会を考えています。是非、ご参加ください。
	13	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	1	0	0		
	14	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12	1	0	0		
	15	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	13	0	0	0	・子供の支援をうけてる様子がわかりありがたいです。	・ありがとうございます。今後も継続していきます。
	16	個人情報に十分注意しているか	10	3	0	0		
	17	子どもが写っている写真を使用する際、同意書等により保護者の同意は確認されているか	13	0	0	0		
	18	子どもの写真をHP等で使用される際、個人情報に十分配慮なされているか	12	1	0	0		
等 避 応 の 難 対 時	①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	11	2	0	0		
	②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	4	1	0		
満 足 度	①	子どもは通所を楽しみにしているか	8	5	0	0	・以前よりは楽しく通える様になったと思います。 ・何が あっても行きたいくらいになってます。有難うございます。	・ご家族の協力があったの支援だと思えます。今後、もし、子どもたちが迷う様子があつた時は、背中をそっと押してあげてください。
	②	事業所の支援に満足しているか	13	0	0	0	・子供も喜んで通所しますし習ったことを家族に対して実践してくれます。例、チャーハンを家で作ってくれて嬉しかったです。	・ありがとうございます。通所するお子さんたちが少しでも成長出来る様、引き続き支援を行っていきます。
施 設 職 員	①	送迎時の職員の対応には満足か	11	2	0	0	・礼儀正しく、頭が下がります。	・ありがとうございます
	②	職員の言葉遣いには問題ないか	11	2	0	0	・職員さんの色々と余裕がない様子も見られます。子供達は常に騒いだりしているの で、仕方ないと思います。	・常に余裕をもって子どもたちに対応が出来る様、務めていきたいと思います。
	③	職員の電話等での対応には問題ないか	13	0	0	0		
	④	支援での職員の対応に満足しているか	13	0	0	0		
	⑤	相談できる職員がいるか	12	1	0	0	・全員です。ありがとうございます。	・ありがとうございます。
支 援 ・ 施 設	①	支援内容はお子様にあっていると思うか	12	1	0	0		
	②	施設的环境はお子様にあっていると思うか	13	0	0	0		
	③	外出、調理、工作などの活動で1か月に出して良い金額はいくらが適当か	1500円以上	1000～1500円	500～1000円	500円以内	・子供のためになるなら金額は問いません。	・皆様の負担にならない予算で行っていきます
	④	祝日に開所した場合利用を考えるか	5	7	1	0	・但し、職員さんもたいへんですのでや すんでください。	・ありがとうございます。
	⑤	支援参観日(実際に施設での様子を見学する)等あれば参加を希望するか	13	0	0	0	・コロナ時は不参加です。	・コロナ禍が落ち着いたら行いますので、 ご参観ください。
進 路	①	中学進学時の進路について現在の考えをお聞かせください	検討中	普通中学一般級	普通中学支援級	進学済		
	②	高校進学時の進路について現在の考えをお聞かせください	検討中	特別支援学校	高等支援学校	一般高校		
	③	高校卒業後の進路について現在の考えをお聞かせください	検討中	一般就労	進学	その他		

2021年度放課後デイサービス事業所向け自己評価表【Growup岡崎羽根北施設】

回答者 8名

実施期間：2022/2/14-2022/2/26

チェック項目			はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	2	0	・おやつと学習や遊び等時間が重なる際は机を決めて領域を分けている。個別対応が必要な場合は相談室を利用している。 ・コロナ禍の為、代替支援も多いが定員を超えないようにしている ・怪我や混雑がないよう、洗面所やお手洗いで並ぶ場所を変えている。 ・おやつや学習（宿題）、遊びの時間が重なる時間は机ごとに区切りスペースを確保している。個別対応が必要な時やクールダウンが必要な時は別室で対応している。
	2	職員の配置数は適切であるか	7	1	0	・利用者の人数に応じた勤務状況が確保されるように管理者に出勤表を作って頂き、職員同士も協力し合っている。 ・適切な人数になるよう勤務表の作成をしている。急な休み等は職員間でフォローしあっている。 ・利用者の人数を事前に把握し、人数に応じた出勤表が作成されている。 ・現状の職員数を維持したい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	4	1	・家具の角にはクッション材を貼り、ステップには滑り止めを使用している。 ・現在利用者に、バリアフリー化の必要な人がいない ・今のところ、スロープなどは必要なし。 ・現在の利用者での不自由さはありません。トイレの手すり等設置されています。 ・肢体不自由な利用者の方はいらっしゃらないが、壁や家具などの角はクッション材を貼り怪我の防止をしている。段差のある所には滑り易い所には滑り止めテープを貼っている。トイレには手すりが設置してある。 ・もし、足の不自由な利用者が来所した場合、段差が多いのでスロープまたはそれに代わる物が必要になる。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7	1	0	・PDCAについては新人研修でも行っている他、通常業務にも反映されているが、一人一人の意識の差はあると感じる。 ・活動の振り返りを必ず行っている。ケース会を月2回行っている。個別の対応について、確認し合っている。改善目標として、不安や疑問、個別の対応の方法など毎日時間を決めて10分～15分話し合う時間をとる。 ・なるべく全員が揃ったところで目標設定や振り返りをおこなっている。活動目標など事前に打ち合わせをし確認し合っている。振り返りも勤務時間の関係で合わせられない職員は紙面に残し全員で振り返りをし次に繋げるようにしている。 ・業務について、話し合う時間を設ける。 - 活動の振り返り、休んでいる職員にも伝達を行っている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	2	0	・ラインで、個々の意向は把握している ・活動内容の見直し、進路の把握、送迎の希望があれば参考にしている ・活動以外の時間は学校の宿題がある人は時間と場所を確保している。外出(社会情勢により)調理など経験を重ねて欲しいご希望に添う計画を立てている。タブレット活用などの希望は、活動に調べ学習で活用するなど取り入れている。小学1年生も学校で使用しているので、今後更に活用を増していく。 ・外出(公共交通機関利用の仕方、買い物の仕方、マナーなど)や調理など、ご家庭で伝えにくいので希望される為、実践している(現在はコロナ禍により外出は控えている)。又、PCなども使って欲しいとのご希望に対して、iPadを利用して調べ学習など取り入れている。コロナ感染による休校によりご希望の方には代替支援として、zoomやLINEなどで対応している。 ・アンケートを読んだ上で、活動内容の見直し、保護者とのコミュニケーションなどを増やしている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	3	0	・各施設職員の思いも知り、勉強していく。 ・誰もがみられることで、自己評価の低いところを改善や前向きに意識して取り組むことができる ・保護者への告知をしている
	7	第三者による外部業務を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	4	1	・外部講師に研修講師をお願いしているが、評価改善についての助言等は貰っていない ・相談事業所の方からの助言や学校様子を参考に、支援方法を話し合っている ・相談所などによる助言を受け支援の向上や保護者や学校などと連携するなどしている。
	8	職員の資質向上を行うために研修の機会を確保しているか	7	1	0	・新人研修は行っているが、その他職員に対しての研修はそこまで行われてないようにみえる。 ・全体研修や児発研修県や障がい児支援協会などの研修を受講。報告書を報告書を提出する事で振り返り認識、確認する。少しでも実践(対応)に繋げる。 ・共通認識の必要なこと(例：法改正などによる)や職員の必要とする研修内容とされている ・毎月二回研修が行われる他、研修の告知を本部から受け職員に周知している。
	9	アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	0	0	・ケース会を行い、職員各々のアセスメントを話し合い、利用者の分析、及び支援に生かしている。 ・職員同士で話し合い、支援の方向性を決めている ・定期的や必要に応じ、保護者と管理者で面談を行い、職員も共通認識し支援につなげている ・アセスメントを出来るだけご両親と実施させて頂き、面談を行い、要望や希望を聞いて個別支援計画をたてたり、毎日行う活動にも反映させている。生かしている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	4	0	・WISC検査(や、SM社会生活能力検査)を行って頂き支援について話し合っている ・WISC検査に基づき、SM社会能力検査、(Vineland)など両者を参考にしている ・児発会議でアセスメントの見直しをしてきた。 ・改めて実施内容を職員に周知し、共有する

適切な支援の提供	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	0	0	・行っていると思う。 ・支援目標などの方向性を確認し合っておこなっている。利用者の利用曜日を考慮し、どの活動も経験出来るよう月ごとに調整している ・活動内容や活動の方向性など全員で考えている。活動前には事前に打ち合わせをし、終わった後は振り返りをしている ・活動のねらいなど、職員で話し合う。毎日の振り返り。それを次の活動につなげる。
	12	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	8	0	0	・毎日違う活動を通しつつもそれぞれの意図が全て繋がっている。 ・毎日違う活動を行っている。同じ活動であっても目標の内容を細かくみて、達成の様子に応じ内容を検討し向上させていっている。 ・毎月行うものとならないものなど取り入れている。毎月行うものも、内容を利用者の習熟度に応じて職員で話し合い変化させている。 ・毎日の振り返りで固定化しないように確認をしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	2	0	・平日で出来ない事を休日、長期休暇に実践するよう活動を取り入れている。又、特にSSTの部分は支援が点にならないよう、平日、休日等変わらない一貫とした支援に務めている。 ・休日や長期休暇は平日ではできないようなものを取り入れている。（外出、調理、検定、就労体験、お茶会、お楽しみ会など） ・コロナで外出の活動が達成出来ないが、平日の活動の積み重ねと、休日ならではの活動を考えて実践して積み上げている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	3	0	・集団活動の中に、個別で行う事と、協力して行う事など取り入れている。コロナ禍の状況に応じ、個別での代替支援としてオンライン活用している。今後施設内でも必要に応じ検討していく ・基本的には集団活動であるが、代替支援のような場合は個別のサービス計画をしている（集団の中にリモートで参加する場合もある）又、活動内容の中で、一人で考えたり行ったりする事と協力して行うことなど色々組み合わせながら行っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	0	0	・支援の内容について共有をし、役割分担を行なっている。 ・内容把握し、個別に対応すべき人などその日の担当を決めている ・必ず時間を取って行っている。休日など時間的に全員が揃うことが難しい時には、個別で事前に知らせ合っている。 ・打ち合わせはするが、確認が足りない事が多いので、活動中に確認している。振り返りで、反省点として出して次につなげている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	0	0	・支援後には振り返りを行い、反省点、及び修正点など30分程度話し合う。 ・良かった点と、こうすると良いことなど互いに意見を出し合っている。職員勤務時間によっては、意見を用紙に記載して話し合いで伝えている。 ・勤務時間の関係で参加できない場合には書面にて伝え全員で認識し合っている。 ・振り返りに参加できない職員には、文章化してもらい、それも含めて振り返りを行っている。時間が長すぎる事があるので、時間を決めて行いたい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	0	0	・日々の支援や活動の記録を取り、振り返りを行い、改善に繋がられている。 ・毎日振り返りをし、用紙に残し、次の活動に繋げている ・活動の振り返りの反省欄に記載し次に繋げている ・支援中、メモをとることをしている。それをもとに振り返りを進めている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	1	0	・情報交換し、支援の方向性をきめている ・モニタリング前後に職員間で話し合い共通認識している ・最低でも年に二回モニタリングをして、内容の見直しをしている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	6	2	0	基本活動に沿って組み合わせて行っている事を職員に周知する。
関係機関や保護者	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	1	0	・職員の質の向上のため、議題内容を話し合い、説明などする機会に慣れるようにする。。 ・誰もが担当者会議に出席しても良いように子どもの状況を共通認識しておく ・コロナで延期が多いが、児発が必ず参加している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7	1	0	・先生方が悩んでいらっしゃる事を伝えられた際には、担当者会議など対応していくことなどお伝えしている。送迎など遅れる際に低調に事前にお伝えする。 ・必要な事は連絡を取り合い間違いのないよう確認している。送迎など遅れる際には事前連絡を行っている。 ・保護者を通して、担任の先生と連絡を取り合い話をしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	5	0	・利用者全員がとれていないので、今後整えていく ・現在は医療的ケアが必要な利用者はいない。薬の服用や必要に応じての通院同行など管理者が行っている。職員に伝達して貰い情報共有している ・薬の服用されている利用者の人はいらっしゃるが、身体障がいによる医療的ケアが必要な人はいない。発達障がいに伴う病院受診が必要な利用者の受診同行など、管理者が行っている。 ・ケアが必要な子どもがいない。 ・「医療的ケア」について、個々の受け止め方が違うので共有していく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	3	2	・出さるところからする ・幼稚園や保育園での様子を保護者を通して書面お知らせ頂き情報共有している。 ・保護者の方から通所や利用されていた所から情報（書面など）頂き職員間でも情報共有している。 ・保護者からの情報だけになっているので、保護者を通して、話を聞けたらよい。 ・保護者をお願いして資料等頂いているので、今後は相互理解のために保護者を介して関係作りに努めたい。

との連携関係機関や保護者との連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	5	0	・現在は対象の利用者はいないが、必要な状況があれば対応出来る ・管理者が書面と共に訪問などして行っている ・該当する利用者がまだいない。 ・羽根北から他の施設に変わる場合は、必ず施設職員全員で引継ぎをしている。卒業して他の福祉施設を利用する対象者が今まで居なかったが移行する場合は情報提供をする。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	4	0	・研修には参加している。連携していく ・研修など参加させて頂いたが、より多くの機会を増し支援の向上に努める ・センターではないが、病院や支援協会と連携があるので助言や研修を受けている。 ・積極的にこちらから関係機関に向う機会を増やしていく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	3	4	・長期休暇等に計画していく ・コロナ禍が続き交流の難しさがある。就労体験などは行っている。今後社内の別の施設の交流を図る。障がいのない人と一緒に募金活動や高齢者施設慰問など地域活動に参加していく ・コロナ禍以前は共同募金など一緒に行うなどの機会がもてていた。高齢者施設訪問など地域との連携も図っていく。 ・今後の課題なので、情報収集して進めたい。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	4	4	0	・積極的に参加していく ・誰もが参加できるように自分自身学んでいく ・代表者が参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	1	0	・児発管理者を通して話し合っている ・送迎時など、利用者の様子など伝え合っている。又、面談での様子など管理者に伝えて頂き共通認識している。 ・毎日の連絡帳以外にも連絡を取り合っている。 ・土曜日の活動の写真等送っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	3	2	・必要に応じ児発管理者を通し働きかけを行っている ・必要性を感じられる利用者の保護者には管理者が伝え薦めているが実践はされない。管理者が利用者には実践している。全ての職員が行えるようにしておく ・今後の課題なので、情報収集して取り組みたい。 病院連携が取れているので、面談の時にペアレントトレーニングについて話しをして勧める事がある。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	1	0	・児発管理者が保護者の予定に合わせ時間をとり納得されるまで話をしている。 ・利用前の面談により管理者より伝えている。質問をされたら誰もが出来るようにしておく ・運営規定、利用者負担については契約時に説明はしている。それが全て保護者に理解される訳ではないので、その都度説明をして了解を得ることがある。 ・代替支援では、案内を繰り返し出した。案内の内容もその都度工夫した。 ・契約時に話をしているが、変更があったり、話の内容すべてを覚えて置く事は難しいので、年度末に利用料やキャンセルについて載っている資料を渡すようにしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	1	0	・児発管理者を通し丁寧に行っている。送迎時などに相談など伝えられた際には、安心出来る範囲のことはお伝えし、施設に持ち帰り職員で情報共有し、児発管理者と時間をとって話し助言や支援をしている。 ・ご相談者の悩みに対し施設でできることは伝え、職員で共有認識し安心して頂けるよう対応する ・ラインを導入したことで、保護者からの悩みに対応しやすくなった。相談内容にあわせて、情報収集している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	3	3	・座談会等の開催 ・座談会などしていきたい ・座談会など企画したがコロナ禍で延期中である。今後も保護者同士の交流の場、情報共有の場ともなるようにしていく。 ・座談会など企画している（今年度はコロナ禍により中止となった） ・コロナ禍で全て中止になった。 ・来年度は必ず開催したい。難しい時は、リモートで企画したい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1	0	・普段から相談し易い信頼関係を気づいておく ・職員間で共通理解し直ぐに保護者と連絡を取り合い安心して頂く ・苦情が入った時は、迅速に対応しているが体制整備は今後の課題です。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	2	0	・毎月通信配布している。活動で来所日を示したカレンダー作りをしている。 ・羽根北通信やカレンダー作りなどして来所日の確認などしている。 ・毎月通信を出し、活動変更は都度出している。
	35	個人情報に十分注意しているか	8	0	0	・濫用しないように使用の際は施設長を通して使用している。 ・個別の児童票など子どもなど入らない部屋で施錠管理している。 ・児童記録など利用者の入らない部屋に置き、施錠できるようにしている ・職員に周知徹底している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	1	0	・児発管理者などとの面談を通し互いの気持ちなど確認しあっている ・口頭で伝えるだけでは忘れてしまうこともあるため、文字で残し確認して貰えるようにしている。 ・子どもに伝えた内容を保護者にも連絡をして、共有できるようにしている。

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	3	2	・コロナ禍で思うようには行かないが、引越し当初はイベント参加を近隣に呼びかけた。 ・施設での行事で近隣に今年度は一度お誘いした。今後はお誘いしたり、こちらから出向く機会など地域と繋げていく ・コロナ禍で取り組みが出来ていない ・今後も行事があれば呼びかけ、知ってもらう機会を増やしていく
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	2	0	・マスク、ハンカチは来所したら交換する。子ども入室前と後には人の触れた所、物など全てを消毒する。煮沸や日光消毒もおこなっている。体温測定を学校、玄関、室内と3回行う。インターホンを押し認証確認した後、扉を開ける。直ぐに取り出せる所に緊急避難用品を準備している。 ・緊急時に持ち出し易い場所に緊急避難品を置いている。入室の際には必ずインターフォンを鳴らし会話をした上でドアを開けるようにしている（利用者、外部の方双方共）、消毒は学校、送迎者内、入室時など3回行っている。使用した物の消毒、換気などに努めている。 ・保護者に周知していないので、今後取り組みたい。 ・回覧するなどして職員には周知している。感染症対応に関しては、感染予防のためマスク・ハンカチの予備を持たせていただくなどの連絡はしている。保護者の方にも周知していただけるようにしていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	2	0	・避難訓練など事前予告なしで行う ・避難訓練を事前に伝えずに行った。 ・年に二回プラス抜き打ちでやっているが、足りないので増やしたい。 ・予告なしの避難訓練を行っている。避難場所への経路を確認も行っているので今後も続けていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	1	0	・子どもの様子をよく確認し、保護者とも良く連携していく。相談事業所や児童相談所ともよく連携していく。 ・2回研修に参加した。 ・毎年必ず研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7	1	0	・互いに確認し承認を得た上で書面でも確認し合う ・医師とも相談したり、保護者に丁寧に説明し納得され書面で提出頂いている ・電話だけでなく、直接対面で話をするようにしている。 ・保護者の方に丁寧に説明をし、承認を得たうえで書面の提出をお願いしている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	1	1	・土曜日の昼食の際は利用者で確認の上食材を選んでも。 ・保護者と確認しあい、必要こと書面での残し職員で情報共有し対応する ・現在医師の指示書が必要な程のアレルギーの利用者はいない ・保護者からの指示で行っている。 ・医師の指示書が必要な利用者はいないが、事前に保護者の方に食べられるかどうかの確認を行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	2	0	・つまづき易い場所に滑り止めをはる。角などにはクッション材を貼る。シートベルトの着脱は、スタッフが確認する。 ・事例があった場合には、その日の内に伝え合い共通認識している又、場合によっては意識付けの為、職員の目にする場所に暫く掲示などする。環境的なことで改善はできることは早急に対処する。 ・職員全員が読むための周知をする。 ・その日のうちに伝え共通認識している。すぐに対処できるものは改善を行っている。今後も全員で確認を行い、事故につながらないようにしていく。

ご意見・ご要望等自由記述

1. グローアップを利用してからのお子様の変化

- ・まわりの様子を見て動いていたのが、自分で考えて行動ができるようになってきました。
- ・文字を書くのが以前より上達してバランスが良くなり、人の話を聞く姿勢が良くなった。
- ・自分から挨拶したり、迷子になった時店員さんへ自分から伝えに行けたりと言葉で上手く伝えられるようになった。言われなくても時計を見て自分で動けるようになった。
- ・受け答えが良くなった。子供がすすんでグローアップにいきたいといい、学んできたことを家でやるようになった。(習った料理を家で作ってくれたりとか)
- ・字がきれいになった。話を最後まで聞けるようになった
- ・家のお手伝いを積極的にやるようになった。言葉遣いに気を付けるようになった。
- ・かなり落ち着きました。騒いだり手を叩いたりする回数も減り、宿題への取り組みもだいぶ進歩しましたし、挨拶も出来るようになりました。
- ・返事やあいさつができるようになってきている。

【施設回答】ありがとうございます。学校にお迎えの時から始まり、施設内での活動（プリント学習、歳時記、音読、手話、クッキング、外出、実験、カレンダー作り、いろはかるた、図形パズルなど）すべての活動を通して SST を中心に進めています。グローアップで学んだことが、様々な場面で活かされている様子を聞いて嬉しく思います。今後も活動等工夫しながら、更にお子さんの成長が見られるような支援に努めていきますのでよろしくお願いします。

2. 支援・活動・就労作業で取り入れてほしいこと

- ・室内で良いので、楽しく身体を動かす日が平日にもあって欲しいです。
- 【施設回答】長期休暇では、近くの公園に行き体を動かしています。平日の活動については、今後検討していきます。
- ・生活で役立つこと。
- 【施設回答】現段階では、言葉遣い、お金の使い方、字の丁寧さ、クッキング、掃除の仕方、最近ではコロナ禍で行えていませんが、買い物、切符の買い方、公共の場所でのマナーなど行っていますが、その他保護者様のご意見を参考にして取り入れていきたいと思っています。
- ・今もやってくれていることですが、自分の考えを言語化する機会を定期的に取り入れて欲しいです。また、興味の幅を広げるよう、様々な体験や、学習ができるとよいな、と思います。
- 【施設回答】どの活動においても自分の考えを言語化出来る様に内容を考えています。また、考えをノートにまとめる事もあるので、面談の時に保護者の皆さんに見ていただくなど機会を作ります。

また、興味の幅を広げられるように活動の内容を考えていきます。

・日本での災害やボランティア等の活動や、海外の発展途上国の現状等の学習なども取り入れてもらえたら嬉しいです。

→【施設回答】コロナ禍で行えていませんが、赤い羽根共同募金のボランティア活動を行っています。また、老人施設や心エール等訪問して、合唱や音読など計画してましたが、コロナの為延期となっております。日本での災害やボランティア等の活動や、海外の発展途上国の現状等のなど幅広く活動に取り入れていく予定です。

・これからも就労体験をいれて行ってほしいです。

→【施設回答】ウイング以外にも就労施設との関係作りを進めています。コロナが落ち着いたら、体験を増やしていく予定です。

3. Hug 連絡帳(サービス提供記録)の内容についてのご意見・ご要望

・グローアップ での様子が良く分かり、家では見せない成長した一面を見る事ができて、毎回読むのを楽しみにしています。

・確認しやすくとても良いです

・問題ないです。

→【施設回答】ありがとうございます。今後もお子さんの様子が分かりやすい文章に努めます。

4. 送迎についてのご意見・ご要望

・いつも気持ちよく対応してくださり、ありがたいです。

→【施設回答】ありがとうございます。

5. その他グローアップへの要望等

・お礼しかありません。コロナ対策もしっかりやって活動して頂き感謝の気持ちでいっぱいです。いろいろご負担を職員の皆様にかけてしまい申し訳なく思っていますが、子供の様子を見ると通所前に比べ受け答えがしっかりするなど変化が見られます。職員の皆様、本当にあるがとうございます。

→【施設回答】ありがとうございます。いつでもお子さんの成長を考え、支援していきたいと思っていますので、今後もよろしくお願いします。